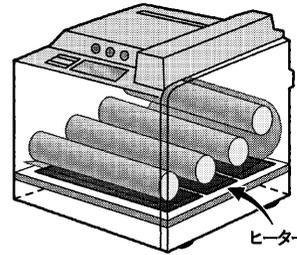


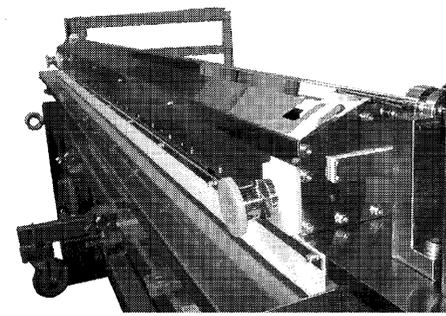
えっ! こんな所に O&Mヒーター

X線フィルム
感光装置用ヒーター



- 【サイズも形状も自由自在】
- ・表面温度200℃まで可能です。
 - ・柔軟性があり、軽量タイプです。
 - ・1枚からオーダー承ります。

O&Mヒーター株式会社 TEL (052) 804-3140
<https://www.om-heater.jp> FAX (052) 804-3146



薄膜パーコータの進化形 **DMコータ**

- 薄く** ・1.8μmwtの薄膜塗工を実現
 - やさしく** ・塗工液の循環量を軽減・溶剤揮発量を軽減
 - コンパクト** ・液供給と計量を一体化・改造、増設が容易
- 基本仕様**
- | | |
|-------|---|
| 最大塗工幅 | 5400mm |
| 速度 | 10~200m/min |
| 塗工厚 | 1.4~50.0μmwt |
| 塗工度 | 1.0~50mPa・s |
| 塗料 | 有機溶剤系/水系 |
| 主な使用例 | ハードコートフィルム・AR, LRフィルム・離型フィルム・LIBセパレータ・各種アンダーコート |

ハイエンド製品を生み出す技術 **ワイヤーバー**

- 製作技術** “塗りの達人”小林製作所が50年にわたり製造・販売
- 最高品質** 自社開発設備で製作する高精度バー
- 豊富な巻線** 0.025mmから対応可能極細線バー(0.075mm以下)で薄膜塗工を実現
- 品質管理** 素材の受入から製品出荷まで、全工程検査を実施
- 表面処理** HCrメッキ処理(0.2mm以上に対応) DLC処理

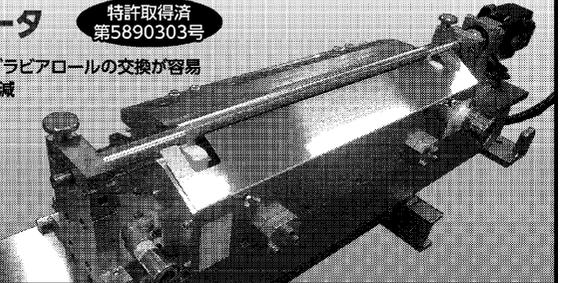


前巻塗工

中粘度用薄膜塗工 **スマートグラビアコータ**

特許取得済
第5890303号

- 特長** ・小径ロールでも撓みによる影響がない・グラビアロールの交換が容易
 - ・セミグローブ方式により溶剤揮発量を軽減
 - ・コンパクト設計により改造が容易
- 基本仕様**
- | | |
|-------|--------------|
| 最大塗工幅 | 1600mm |
| 速度 | Max 150m/min |
| 塗工厚 | 1.0~50μmwt |
| 塗工度 | 1~200mPa・s |
| 塗料 | 有機溶剤系/水系 |



—高度化するニーズに応える—

フィルム・シート・紙加工機

P R

品質の安定性を支える

フィルムやシート、紙の加工機は切り分けや貼り合わせ、液体の塗布、乾燥など各工程を通して活躍し、加工現場を支えている。加工された製品は、印刷業界をはじめ、食品、医療、エレクトロニクス分野など幅広く活用されている。加工対象物(ワーク)となる素材市場では、脱炭素社会に向けた取り組みから、電気自動車(EV)用リチウムイオン電池(LiB)や太陽電池向けのフィルムの需要拡大が期待される。また環境に配慮した素材の開発が進む。これに伴い、加工機メーカーでは機能性フィルム用の成形機などの開発に力を入れている。

フィルムやシート、紙の加工機は切り分けや貼り合わせ、液体の塗布、乾燥など各工程を通して活躍し、加工現場を支えている。加工された製品は、印刷業界をはじめ、食品、医療、エレクトロニクス分野など幅広く活用されている。加工対象物(ワーク)となる素材市場では、脱炭素社会に向けた取り組みから、電気自動車(EV)用リチウムイオン電池(LiB)や太陽電池向けのフィルムの需要拡大が期待される。また環境に配慮した素材の開発が進む。これに伴い、加工機メーカーでは機能性フィルム用の成形機などの開発に力を入れている。

フィルムやシート、紙の加工機は切り分けや貼り合わせ、液体の塗布、乾燥など各工程を通して活躍し、加工現場を支えている。加工された製品は、印刷業界をはじめ、食品、医療、エレクトロニクス分野など幅広く活用されている。加工対象物(ワーク)となる素材市場では、脱炭素社会に向けた取り組みから、電気自動車(EV)用リチウムイオン電池(LiB)や太陽電池向けのフィルムの需要拡大が期待される。また環境に配慮した素材の開発が進む。これに伴い、加工機メーカーでは機能性フィルム用の成形機などの開発に力を入れている。

有力企業の製品・技術(順不同)

オーエムヒーター

オーエムヒーターの「O&Mシリコンラバーヒーター」は柔軟性が高いのが特徴のシート状ヒーター。丸型、三角、台形、穴あきなど被加熱物のさまざまな複雑形状、自由なサイズで製造ができ、独自の製法で1枚のオーダーから少量まで幅広く手がける。

多様な業界での採用で信頼性が高く、フィルム・シートの熱ラミネート加工のロール作成時の加熱やインクジェット印刷のシステム用として、またX線フィルム感光装置用のローラーにも採用されている。

小林製作所は「塗る。巻く。切る。」をコア技術とし、フィルム・紙・金属のコーティングやハンドリング、スリッピング、ワイディング設備を納入している。

塗る技術には、長年の実績・開発を重ね、多様なコーティング方法をそろえ、

小林製作所

薄膜から厚膜、紙からフィルム、光学用から工業用途など、あらゆるコーティング要望に対応。常設テストコーナーでは、日々新しいコーティングの自社開発と顧客要求のコーティングテストを実施し、顧客の新設備投資に込めている。